

再 評 価 調 書

I 事業概要							
事業名		道路事業					
地区名		主要地方道岡崎設楽線 <small>おかざきしたらせん</small>					
事業箇所		新城市作手善夫～新城市作手菅沼 <small>つくでぜんぶ つくですがぬま</small>					
事業のあらまし		<p>主要地方道岡崎設楽線は、岡崎市を起点とし旧作手村を經由し、設楽町に至る延長 56.5km の路線であり、国道 301 号や国道 473 号と接続し、山間部の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は線形が不良で見通しが悪く、狭隘区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。また、歩道が設置されていないことから、歩行者を含めた交通安全の面でも課題となっている。</p> <p>このため、自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上を主な目的として、主要地方道岡崎設楽線のバイパス整備を実施するものである。</p>					
事業目標		<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1)山間・離島対策（自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移			事業採択時 (2006 年度)	再評価時(1 回目) (2016 年度)	再評価時(2 回目) (2021 年度)	変動要因の分析	
		事業期間	2006 年度 ～2022 年度	2006 年度 ～2022 年度	2006 年度 ～2026 年度	地質調査結果に基づき、岩破碎工の追加による事業期間の延長	
		事業費（億円）	10.0	10.0	14.0	地質調査結果に基づき、岩破碎工の追加による工事費増 (0.0 億円→1.6 億円) 関係機関調整による土砂処分地変更に伴う工事費増 (1.0 億円→3.4 億円)	
		経費内訳	工事費	9.2	9.2		13.2
			用補費	0.2	0.2		0.2
その他	0.6	0.6	0.6				
事業内容		バイパス整備 延長 0.7km 幅員 10m 2 車線	バイパス整備 延長 0.7km 幅員 10m 2 車線	バイパス整備 延長 0.7km 幅員 10m 2 車線			
II 評価							
①事業の必要性	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道は幅員が狭く、急カーブもあり、自動車の安全性、走行性が懸念される状況である。 ・当該路線は地域の生活道路として機能しているとともに、通学路となっているため、安全性の確保が必要とされている。 					

	<p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスの整備中であるが、線形不良で見通しが悪く、狭隘区間で車両のすれ違いが困難であることから、依然として整備の必要性は高い状況である。 <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道区間は歩道が設置されておらず、歩行者の安全性を確保する観点から、依然として整備の必要性は高い状況である。 <p>【再評価時(2回目)の状況】</p> <p>(1) 山間・離島対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスの整備中であるが、線形不良で見通しが悪く、狭隘区間で車両のすれ違いが困難であることから、依然として整備の必要性は高い状況である。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の円滑化及び安全性の確保のため、引続き整備の必要性がある。 																																																																																																																																											
	<p>判定</p> <p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>自動車すれ違い困難区間における自動車の安全性・走行性向上の観点から、事業の必要性に大きな変化がないため。</p>																																																																																																																																											
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2011～2016</th> <th>2016～2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・橋梁工</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td>5.6</td> <td>3.0</td> <td colspan="6">1.4</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5.6</td> <td>4.2</td> <td colspan="6"></td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>5.6</td> <td>4.2</td> <td colspan="6">4.0</td> <td>14.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.7</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>10.0</td> <td>9.8</td> <td>98</td> <td>14.0</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>9.2</td> <td>9.1</td> <td>99</td> <td>13.2</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>100</td> <td>0.2</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.6</td> <td>0.5</td> <td>83</td> <td>0.6</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、約100%</p>			2011～2016	2016～2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計	工種区分	調査・設計	←→								/	用地補償	←→								工事	←	→							・土工	←	→							・橋梁工	←→				←	→			・舗装工								←→	事業費(億円)	前回計画	5.6	3.0	1.4						10.0	実績	5.6	4.2							9.8	今回計画	5.6	4.2	4.0						14.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.7	0.0	0	0.7	0	事業費(億円)	10.0	9.8	98	14.0	70	工事費	9.2	9.1	99	13.2	69	用補費	0.2	0.2	100	0.2	100	その他	0.6	0.5	83	0.6	83
		2011～2016	2016～2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	合計																																																																																																																																		
工種区分	調査・設計	←→								/																																																																																																																																		
	用地補償	←→																																																																																																																																										
	工事	←	→																																																																																																																																									
	・土工	←	→																																																																																																																																									
	・橋梁工	←→				←	→																																																																																																																																					
	・舗装工								←→																																																																																																																																			
事業費(億円)	前回計画	5.6	3.0	1.4						10.0																																																																																																																																		
	実績	5.6	4.2							9.8																																																																																																																																		
	今回計画	5.6	4.2	4.0						14.0																																																																																																																																		
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																								
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																							
延長(km)	0.7	0.0	0	0.7	0																																																																																																																																							
事業費(億円)	10.0	9.8	98	14.0	70																																																																																																																																							
工事費	9.2	9.1	99	13.2	69																																																																																																																																							
用補費	0.2	0.2	100	0.2	100																																																																																																																																							
その他	0.6	0.5	83	0.6	83																																																																																																																																							

②事業の進捗状況及び見込み

2) 未着手 又は長期化の理由	・地質調査結果に基づく、岩破碎工を追加したため、完了予定年度を2026年度に変更する。
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法面对策工の設計の一部見直しにより事業期間が延伸するが、設計は完了しており2026年度までに整備が完了する予定である。
判定	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は阻害要因がなく、2026年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針（案）	
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の安全性・円滑性の改善状況 	